## ヒアリングツール

## 打ち合わせ内容については以下の IP カルテ及びチェックポイントシートを用いて記録します。

#	製品名			市	場シェア		
	一般名称				上 1位		
					<b>位</b> シ 2 位		
	品番				ァ 3~5位	7	
	 L市時期				不明		
				製	L 品の特長		
基本情報					1		
報	関係者名				2		
	事業責任者開発者			_	③ イバル企業・	<b>士</b> 坦新占	
	用光有				インル正来・	口物到问	
=	事業規模(最	近の年間売上	-高)				
		2.5 (12,702	-1-2/				
	日 程		メンバー			概要	詳細記鈞
							<b>→</b>
							→
‡T							<b>→</b>
打ち							
ち							<b>→</b>
ち合							<b>+</b>
ち 合 わ							<b>→</b>
ち合わせ							<b></b>
ち合わせ記							<b>+</b>
ち合わせ							<b></b>
ち合わせ記							+
ち合わせ記							+

特許出願時における	3チェックポイント			
1411 - 1411	記入日付:			
	整理番号:			
	記入者:			
(1) 方式チェック				
①明細書の全般の形式	□ 1装置の内部構成を示す場合のアンタ			
達成	ーバ ( +↓) が記載されているか?			
□ 明細書の書式が正しい	□ 線種、ハッチング等の統一か			
□ 【課題を解決す~効果】が正しい	□ 断面図で断面を省略せず記載したか			
□ MA&IS は【 <u>課題~</u> ための手段】	□ グラフの単位等日本語表記したか			
【発明の効果】の形式スペース	口 ブブブの中国サロ外間数間のだれ			
□ 【符号の説明】のスペース2つある?				
□ 『手法』ではなく『方法』	(2) 実体チェック			
	①明細書の内容			
□ 『これらのことより』は×	and The section of th			
<ul><li>□ 語彙の句読点は正しい?</li><li>(プリベーグ or プリベーク/, と、等)</li></ul>	<u>i )従来技術</u>			
	達成			
□ 『本発明の実施例~』×	□ 従来技術に推測文&作成していないか			
『本発明の実施の形態~』〇	□ 本当に公知の事実のみ記載しているか			
□ 『出来る』『良い』はひらがな記載	□ 【発明の属する技術分野】に今回の技			
□『など』は漢字記載	術分野を詳細に書いていないか			
□ 従来技術の公報番号は正しい?	□ 本発明のポイントが容易となる程度			
□ 材料の名称等の誤りは無い?	の詳細を記載しすぎていないか			
□ 数値限定の誤りは無い?	□ クライアントの従来の技術を明らかに			
□ 図面および明細書中の符号は一致?	否定していないか?			
□ 配列表の記載漏れはない?	ii)特許請求の範囲および効果			
□ 願書の発明者の記載順は?	達成			
	□ クレームでは、広い用語で記載したか			
②【特許請求の範囲】の形式	□ メインクレームで、従来技術との差が			
達成未達成	明らかにされているか			
□ 【請求項1】~順に番号か	□ 発明のポイントが明確か			
□ 文頭末の語彙【発明の名称】が一致	□ 効果は、その請求項にとって特有な			
□ 言葉は統一されているか	効果が記載されているか			
□ 引用する従属項の番号に誤りがないか	□ 各々の請求項の内容に応じた別個の			
□ 物、方法、製造方法、プログラムか	効果が記載されているか			
	□ 作用&効果が不十分ではないか			
③図面の形式	□ 過去の文献にとらわれた請求項や			
達成	効果の記載になっていないか			
□ 図番の順は図1~順にあるか	□ 発明の構成を明確に捕らえているか			
□ 図面中に不明な用語を使用してないか	□ 『構成される』よりも『備える』			
□ 矢印の抜けがないか	□ 請求項を読み、絵に表現できるか			
□ 図面サイズが守られているか	□ 絵を描き発明の装置と同じか			
	□ クレーム⇔効果の相互確認			

## ヒアリングツール

詳細なヒアリングシートの内容をご覧になりたい方は <u>こちらのお問い合わせフォーム</u>にてご記入のうえご連絡ください。

